

平成29年度 JCM セミナー

午前「公共工事の検査」

午後「中小規模工事にも役立つICTの活用」



CPDS 8 ユニット+試験 2ユニット

形態コード103...4ユニット^②上限のあるコードです
101...4ユニット

試験ユニットは会場平均点以上得点の方のみ。形態コード111

- 受講料(テキスト代込)
技士会員 / 6,500 円
一般 / 10,000 円
(学習履歴登録手数料は別途)

時間	内容
10:00~11:50	公共工事の検査
11:50~12:50	昼休み 60分
12:50~15:40	中小規模工事にも役立つ ICTの活用
15:40~15:50	休憩
15:50~16:30	試験 アンケート等

午前

公共工事の検査 《講師》 元 国土交通省職員

東日本大震災等を契機として建設業がかかえる諸問題が顕在化し、平成26年には「品確法、建設業法、入契法」等の改正が行われました。また、国土交通省では、建設現場の生産性の向上に向けて、平成28年度からi-Constructionへの取り組みが始まっています。これら法令や諸規定の変更を反映させた改訂版テキストを使用して、現在の公共工事の検査並びに成績評定等について、講師自身の経験を踏まえて解説します。

午後

中小規模工事にも役立つICTの活用 《講師》 どちらかの講師が担当します

生産性向上を目指す i-Construction は、大規模工事のみに求められるものではありません。むしろ我が国の建設事業で圧倒的多数を占める中小規模工事での適用が求められています。その基本となる技術がICT (Information and Communication Technology: 情報通信技術) です。本講習では「ICTのきほんの「き」」から、具体的導入方法まで、幅広くまとめた内容を、わかりやすく紹介します。



水野 哲 氏
(有)水野テクノリサーチ 代表

山梨大学工学部土木工学科卒
技術士(建設部門、総合技術監理部門)、
一級土木施工管理技士、測量士、労働安全
コンサルタント(土木)、公共工物品質
確保技術者(Ⅱ)、筑波研究学園専門学校
非常勤講師(建築環境学科)

業態や企業規模に大きな幅がある建設企業の中でも中小企業が果たすべき役割は大きいものがあります。同時に中小規模工事には特有の「モノ作りの難しさ」があり、ICTの活用についても、経営資源や現状の体制及びルール未整備等、特有の制約が予想されます。本講習では、「i-Construction」の流れを説明するとともに、中小規模工事の特徴を踏まえた「ICTの活用」について紹介します。



堺 逸郎 氏
ケイヨーエンジニアリング事務所代表

大阪大学工学部土木工学科卒
技術士(建設部門)、一級土木施工管理
技士、甲種火薬類取扱保安責任者、労働
安全コンサルタント(土木)、ダム工事
総括管理技術者、公共工物品質確保技
術者(Ⅰ)

お申込は JCM のホームページから <http://www.ejcm.or.jp/>

お問合せ先: (一社)全国土木施工管理技士会連合会 セミナー事務局 03(3262)7425